

たてばやし学校エコライフ 活動報告書

(令和5年度版)

令和6年2月

館林市市民環境部地球環境課

館林市教育委員会学校教育課

1 「たてばやし学校エコライフ活動」の概要

(1) 目的

「たてばやし学校エコライフ活動」は、令和2年3月に策定された「第三次館林市環境基本計画」において、「学校での環境教育の推進」、重点プロジェクトの一つ「意識啓発プロジェクト」として重要な取組の一つとして位置付けられ、次の目的のために実施するものです。

①環境に配慮した生活習慣の定着

学校生活の中で、創意工夫しながら実践し、生活習慣化することで、日常的に環境に配慮した学校生活を営めるようにします。

②温室効果ガスの削減及び省エネの推進

館林市教育委員会は、地球温暖化対策などの法律に基づく対象施設であるため、温室効果ガスの削減及び省エネの推進が責務となっています。

③家庭・地域の事業者・地域全体への環境配慮行動の波及

子どもたちが「たてばやし学校エコライフ活動」によって身につけた環境配慮行動を家庭でも実践することにより、地域での環境配慮活動として普及していくことが期待されます。

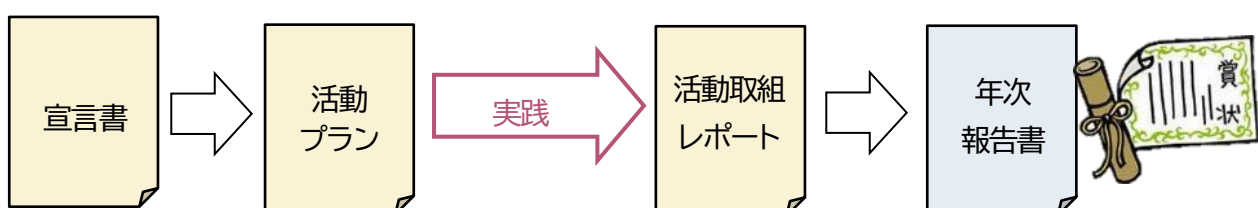
(2) 定義

「たてばやし学校エコライフ活動」とは、「環境教育」の「実践の場」として、学校生活における省エネや省資源などの環境に配慮したエコ活動のことをいいます。

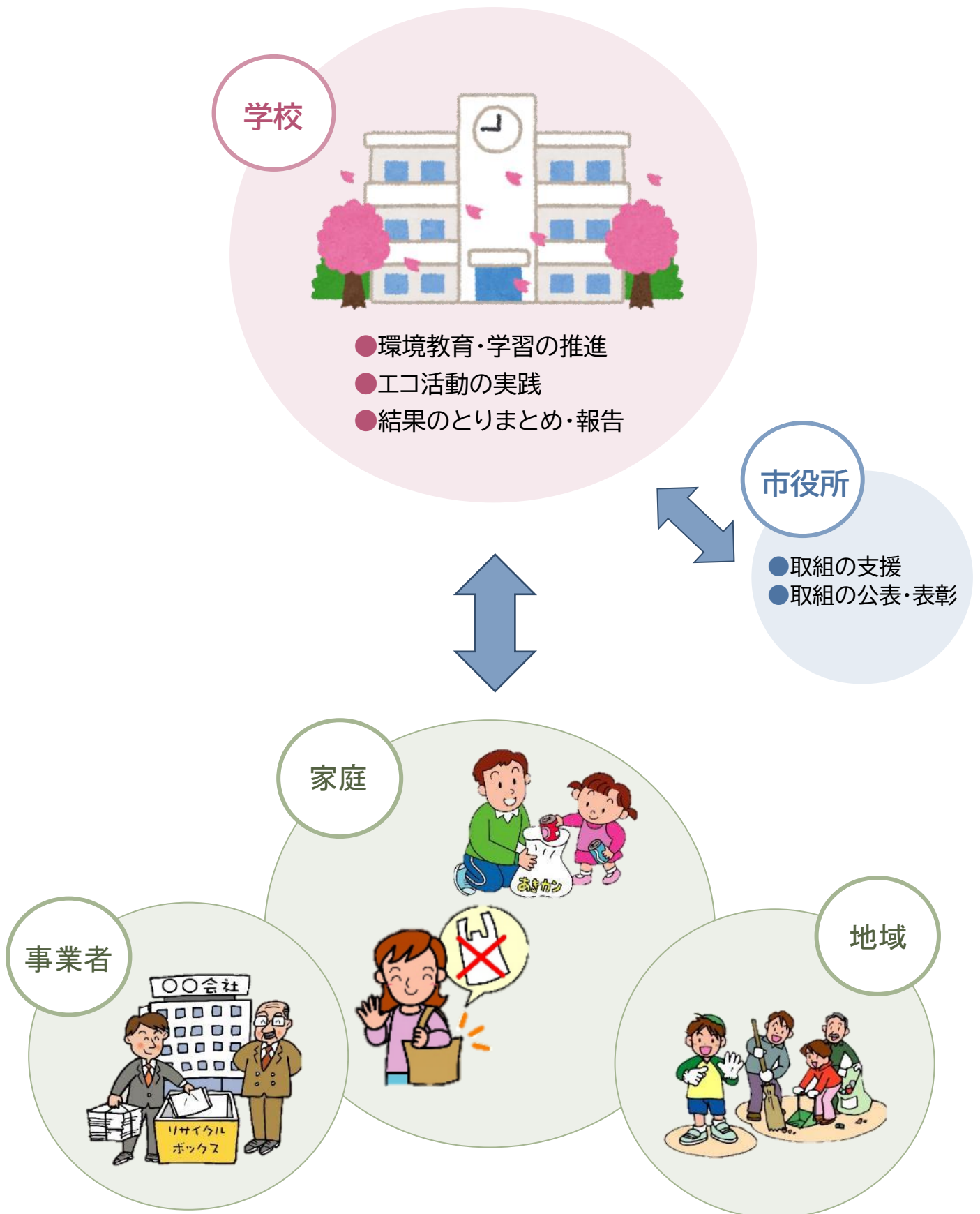
(3) 仕組み

たてばやし学校エコライフ活動では、学校生活での活動を実践・推進していくための方向性を定める「学校エコライフ活動宣言書」を作成し、その方向性に沿って「学校エコライフ活動プラン」を組み立て、取組を推進していきます。なお、従前から実施してきた環境教育等については、従来通り継続実施していきます。

学校エコライフ活動での取組結果は「たてばやし学校エコライフ活動取組レポート」にとりまとめ、地球環境課に報告します。また、これらの取組のうち、特に他の模範となるものについては表彰し、取組を奨励していきます。



(4) 全体像



(5) 令和5年度の取組

令和5年度は、概ね次のとおり実施しました。

月	スケジュール	学校での実施事項	学校への支援等	
4月	準備	<ul style="list-style-type: none"> 推進体制づくり 宣言の決定 学校エコライフ活動に取り組む方向性・内容の決定 		
5月			実務担当者向け研修会	
6月	実践	<ul style="list-style-type: none"> 『学校エコライフ活動宣言書』の作成 『学校エコライフ活動プラン』の作成 	宣言書・活動プラン → 報告	
7月		<ul style="list-style-type: none"> 活動の推進 活動の実践 		
8月				
9月				
10月			学校訪問（4校）	
11月				
12月		まとめ・報告	<ul style="list-style-type: none"> 活動の報告 取組結果のとりまとめ 『学校エコライフ活動取組レポート』の作成 	
1月			学校エコライフ活動取組報告	取組レポート → 報告
2月		周知・引継		
3月			<ul style="list-style-type: none"> 取組結果の周知 取組の継承 次年度への引継ぎ 	たてばやし学校エコライフ活動報告 たてばやし学校エコライフ通信の発行

2 各校の取組結果

令和5年度における各校の取組結果は次のとおりです。

(掲載順序)

No.	学校名	宣言書スローガン	頁番号
1	第一小学校	みんなでエコ活動にトライ！一小を緑あふれる学校へ	5・6
2	第二小学校	限りある資源を大切に、環境にやさしい学校を目指します	7・8
3	第三小学校	緑化と節水、節電を通して地球にやさしい学校をつくります	9・10
4	第四小学校	緑と花のあふれる四小にしよう	11・ 12
5	第五小学校	緑化、節水、節電に取り組み、環境にやさしい学校へ	13・ 14
6	第六小学校	節電・節水、リサイクルをして、環境に優しい学校を目指します	15・ 16
7	第七小学校	節水や節電、食品ロス対策に取り組み、「温室効果ガス排出量」ゼロに貢献します	17・ 18
8	第八小学校	節電・節水を心がけ、資源を大切に環境にやさしい学校を目指します	19・ 20
9	第九小学校	身近な自然についてよく学び、自然となかよくできる学校を目指します	21・ 22
10	第十小学校	資源やエネルギーを大切に、環境によい学校を目指します	23・ 24
11	美園小学校	環境美化とリサイクルを意識して、環境に優しい学校を目指します	25・ 26
12	第一中学校	資源やエネルギーを大切に育てる一中を目指します	27・ 28
13	第二中学校	二中から、みんながすごしやすい環境を！リサイクルでエコろう！	29・ 30
14	第三中学校	古紙アルミ キャップ回収 エコの意志！	31・ 32
15	第四中学校	積極的に節電・節水し、環境に気をつかう四中へ	33・ 34
16	多々良中学校	花の植え替えや、落ち葉拾いなどの環境整備を通し、美しくてみんなが生活しやすい多々良中学校にする	35・ 36

館林市立第一小学校

宣言書スローガン

みんなでエコ活動にトライ！一小を緑あふれる学校へ

取組テーマ

- 1 省エネルギー
- 2 省資源・リサイクル
- 3 緑化活動

取組目標

一人ひとりがエコ活動について考え、行動し、緑あふれる美しい学校を目指します。

取組内容

- 1 使用していない教室と廊下の照明や扇風機などの空調、パソコンの電源は、こまめに消すよう心掛けた。また、C4thを使って、一小の電気使用量の現状について記載し、節電の周知を行った。
- 2 節電や節水、リサイクルを全校の児童に呼びかけるため、リサイクル委員会が啓発用のポスターを作成し、校内に掲示した。また、新聞の作成も行い、掲示した。
- 3 各教室にあるゴミ箱やゴミステーションに、誰でも分別ができるように掲示を行い、分別の徹底を図った。
- 4 古紙回収を行う際、古紙回収BOXの中身を、リサイクル委員会で確認することで、確実な分別に努めた。また、古紙回収できるものとできないものを絵で表し、古紙回収BOXに貼った。さらに、家庭にも、古紙回収日の前に便りを配信し、多くの古紙が回収できるようにした。
- 5 緑化委員会を中心に、PTAの方々と協力して、花の植え替え作業を行ったり、「緑のカーテン」を作成したりした。
- 6 緑化委員会を中心に呼びかけ、全校児童の中から「花植ボランティア」を募集し、花植えを行った。併せて、水やりや草取りなど、児童で維持管理を行った。
- 7 地域の方から、「花壇ボランティア」を募集し、児童と一緒に、花植えや花壇の整備などに参加していただいた。また、花壇ボランティアの方が中心となり、一小周辺の草花について勉強する、「一小草花ツアー」を緑化委員会向けに行った。
- 8 リサイクル委員会を中心に、ペットボトルキャップ回収ボックスを作成し、回収した。
- 9 1年生～3年生が、卒業式と入学式に向け、一人一鉢運動を行った。
- 10 150周年記念も兼ね、各学年が学校の敷地に植樹を行った。

今年度のまとめ

引き続き行った「花壇ボランティア」も、月に一度、担当教諭とCSディレクターを交えて会議を行うなど、さらに活性化してきた。地域と密接になることは、学校全体を盛り上げることにも繋がった。また、「たてばやし5つのゼロ宣言」から、今年度より、ペットボトルキャップ回収を行うなど、新しい取り組みにも挑戦した。

来年度に向けた目標

今年度もエコライフ活動を多面的に捉え、省エネルギーやリサイクル、緑化活動など、様々な活動を充実させることができた。しかし、その反面、特定の委員会に仕事が偏ってしまっていたようにも思う。来年度は、今まで行ってきた活動を学校全体という形にシフトし、より多くの児童にエコライフを意識してもらえよう取り組みたい。

▽ペットボトルキャップ回収

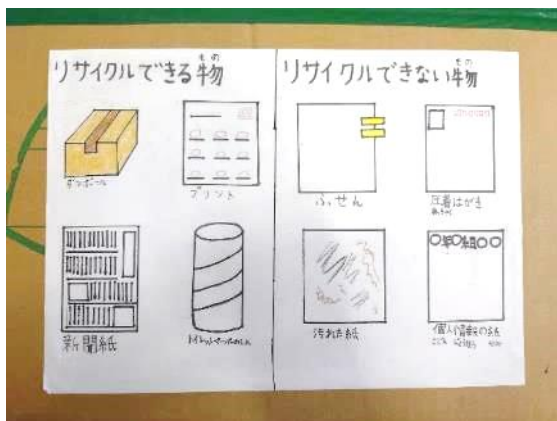


◁児童による花植えボランティア



◁花壇ボランティアの方による作業

▷古紙回収ボックス



◁花壇ボランティアの会議

▷節水ポスター



◁一五〇周年記念植樹

館林市立第二小学校

宣言書スローガン

限りある資源を大切に、環境にやさしい学校を目指します。

取組テーマ

- 1 温室効果ガス排出量「ゼロ」

取組目標

花や緑を増やし、節電、リサイクルを意識した生活を送ります。

取組内容

- 1 教室やトイレの照明は、使わないときは消すことを職員には職員会議で、児童には教員から周知した。
- 2 10月を節電月間とし、児童会から使わない電気を消すように放送で呼びかけた。
- 3 節電の啓発ステッカーを青少年赤十字委員会が作成し、節電の啓発活動を行った。
- 4 各教室に「燃やせるゴミ」「プラゴミ」「古紙ボックス」を設置し、分別を徹底した。
- 5 各水道に「節水」を呼びかける啓発ステッカーを貼り、節水を呼びかけた。
- 6 清掃時は、バケツに水をくんで作業を行うことを児童に周知し、節水に努めた。
- 7 職員には、学期ごとに古紙回収を行う際に協力を呼びかけた。また、地域にも呼びかけて、回収を行った。児童の古紙回収は、青少年赤十字委員会が月1回、教室の古紙を回収した。
- 8 園芸委員は、定期的に花植、除草などの花壇整備を行い、環境美化に努めた。
- 9 学校沿いの花壇のつつじの子房つみを行い、郷土の自然環境への貢献を行った。
- 10 冬場では、ペットボトルに黒いテープを巻いて水を入れ、太陽光によるクリーンエネルギーの活用を行い、温室効果ガス「ゼロ」に貢献した。
- 11 給食委員は、給食を残さず食べるように児童に呼びかけるポスターを作成し、食品ロス削減を呼びかけた。また、放送でも残さず食べることを呼びかけた。

今年度のまとめ

学校エコライフ活動は、職員に浸透しており、意識の高まりを感じた。節電の啓発ステッカーは、児童から意見が出て実行となった。児童の意識も高まってきていると感じた。

来年度に向けた目標

学校全体として、環境に対する意識は高まっていると感じる。ただ、トイレや廊下などの電気は、付けたままになっていることもあり、継続的な呼びかけが必要であると感じる。



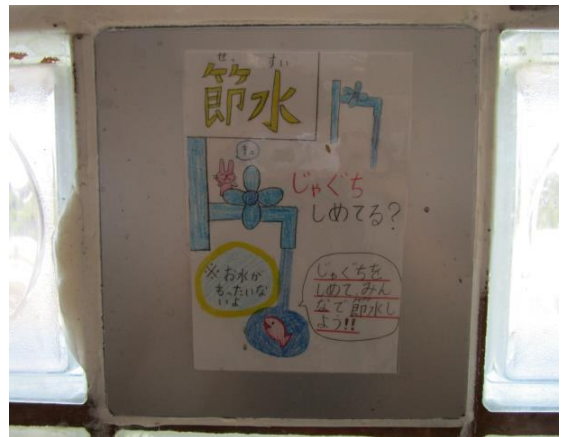
スローガンの掲示



食品ロス削減を呼びかけるポスター



各教室の古紙ボックス



節水啓発ポスター



花壇整備の様子



子房つみの様子

館林市立第三小学校

宣言書スローガン

緑化と節水・節電を通して、環境にやさしい学校をつくります。

取組テーマ

- 1 緑化
- 2 節水・節電

取組目標

花と緑を増やす事を心がけます。
節水・節電を啓発する活動に取り組みます。

取組内容

- 1 園芸委員を中心に、季節の花を育て、花壇の美化を図った。
- 2 古紙回収ボックスを各クラスに設置し、奉仕美化委員が定期的に回収することで、学校全体のリサイクルへの意識を高め、習慣化することができた。
- 3 校舎の南窓側に「緑のカーテン」を作り、緑を鑑賞したり、理科の授業で観察をしたりした。
- 4 学校園委員会を中心に、節水・節電のポスターを作成し、児童が行動に移すことができるように呼びかけた。
- 5 三年生が日本遺産「里沼」の城沼を訪れ、動植物や環境を守る取り組みについて調べる「城沼たんけん」をし、疑問点を調べ、タブレットにまとめて発表会をしました。

今年度のまとめ

花壇の美化やグリーンカーテンの活動を通して、緑化に対する意識が高まり、児童主体で緑化活動に取り組むことができた。また、節水・節電を啓発する活動を行ったことで、水の出し過ぎに気をつけたり、教室移動の際にこまめに電気を消したりする姿が見られるようになった。

来年度に向けた目標

緑化活動や環境を守る活動を通して環境への意識は高まってきたが、個人差があることが課題として考えられる。次年度取組では、個々の緑化に対する理解を深められるよう啓発活動を行っていきたいと考える。

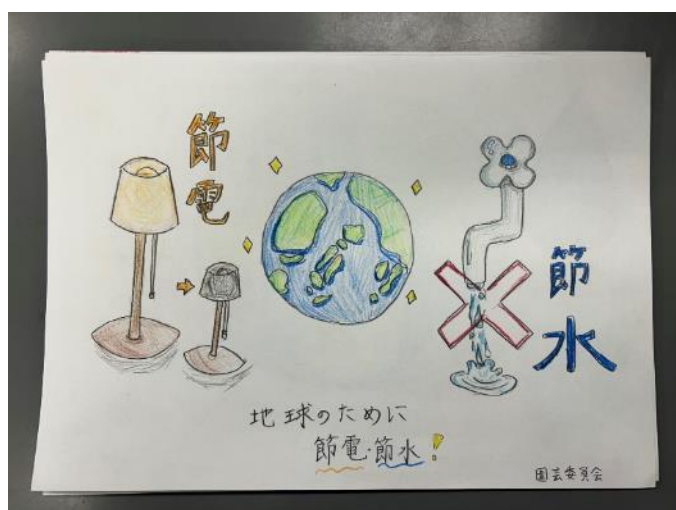
○緑化

高学年の児童が協力して、花壇に花を植えました。園芸委員の児童が花の世話をしています。



○環境を守る活動

節水・節電を呼びかけるために、学校園委員でポスターを作り、水道や電気のスイッチの近くに貼り、啓発活動を行いました。また、奉仕・美化委員の児童が定期的に古紙回収を行っています。節電節水を推進するためのポスターも作成しました。



館林市立第四小学校

宣言書スローガン

緑と花のあふれる四小にしよう

取組テーマ

- 1 緑化
- 2 美化

取組目標

緑や花を大切にし、美しい第四小学校をつくっていただけるよう努めます。

取組内容

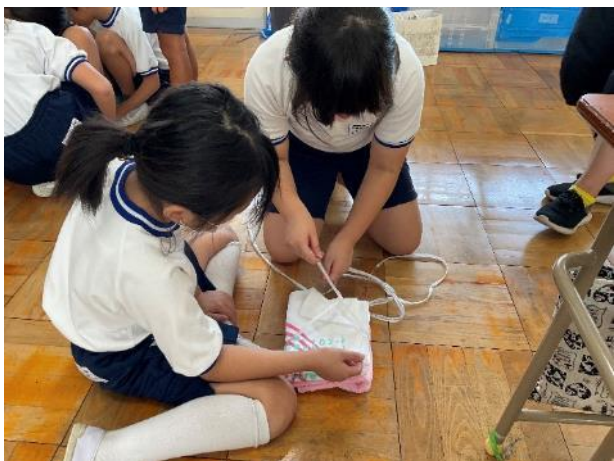
- 1 朝行事の「花壇整備」を活用して、児童全員で花壇の花の植え替えや掃除を行った。また、各学級で水やりや手入れを行うことで、環境美化や自然愛護の意識を高めた。
- 2 学校行事「世代間交流会」では、地域の方々と協力してさつまいもを育てて収穫し、自然の恵みへの感謝の気持ちを育んだ。
- 3 3年生で「ごみを減らすためにできること」を考え、「ポイ捨てをしない」、「ごみの分別」、「食品ロスの削減」などを呼びかけるポスターを作り、校内に掲示した。

今年度のまとめ

当初目標としていた活動に加えて、3年生を中心にゴミについての活動を行ったことで、緑化、美化の啓発だけでなく、環境配慮についても学校全体での意識を高めることが出来た。

来年度に向けた目標

学校全体の児童数が少なく、取り組める活動が限られる中で、少人数であることを活かせる取り組み（一つの取り組みを児童全員で行うなど）を考え、実行していきたい。また、継続して、緑と花のあふれる四小と呼ばれるように、緑や花を大切にしていけるよう努める。



出前授業にて、ごみの分別に取り組んでいる様子



さつまいもほりの様子



花壇整備の様子



館林市立第五小学校

宣言書スローガン

緑化、節水、節電に取り組み、環境にやさしい学校へ

取組テーマ

- 1 緑化
- 2 節水
- 3 節電

取組目標

日常の学校生活の中で省エネルギー活動を実践します。

取組内容

- 1 緑の委員を中心に、季節の花を育て、花壇の美化を図った。
- 2 校舎の南側の窓に「緑のカーテン」を作り、夏の日差しを和らげるようにした。
- 3 緑の募金活動を行い、学校全体で森林やみどりを豊かにしようという気持ちを育んだ。
- 4 節水、節電の呼びかけを行い、学校全体に意識啓発を行った。

今年度のまとめ

エコライフ活動を進めていくことで、緑の委員を中心に学校全体で環境に対して意識して取り組むことができた。

来年度に向けた目標

来年度も引き続き緑化や節水節電に取り組んでいきたい。緑の委員の児童が、各クラスにポスターを作成したり、呼びかけの頻度を増やしたりして、常時環境にやさしい意識をもつことができるようにしていきたい。



花の苗を植えました。



**人権の花の種(マリーゴールド)を
植えました。**



**素敵な緑のカーテンが育ちました。
緑のカーテンがかかっている教室は
エアコンをつけなくても大丈夫！**



**教室にだれもいなくなるときは、
電気を消します。**



水を出しすぎずに使います。



館林市立第六小学校

宣言書スローガン

節電・節水、リサイクルをして、環境に優しい学校を目指します。

取組テーマ

- 1 温室効果ガス排出量ゼロ
- 2 美化・緑化

取組目標

節電・節水、リサイクル、花壇整備

取組内容

- 1 各クラスにリサイクルボックスを設置し、月一回の委員会活動時に回収を行った。
- 2 金曜日毎のアルミ缶・ペットボトルキャップの回収では、「お昼の放送」の中で、回収日前日に「協力をお願い」をし、回収日当日には協力者名を紹介しその都度「お礼」を行った。
- 3 委員会として節水について学習会を開き、生活の中で水を使う場面を想起したり具体的な内容を考えたりし、節水を呼びかけるポスターを制作した。
- 4 教室を使用しない長期休暇中は、テレビの電源を切ること等の節電やアルミ缶回収の協力呼びかけをC4 t hで全職員に周知した。
- 5 6年生の総合的な学習「今、私たちにできること」において、「動く環境教室」エコムープ号を活用しSDGsについて学び、自分にできることをまとめ提案した。

今年度のまとめ

リサイクルにおいては、アルミ缶・ペットボトルキャップの回収を毎週行うことで、金曜日は「資源回収日」として定着できた。また、古紙回収ボックスを各教室に設置していることで、紙類を資源として分別するという意識を低学年から育てることができた。

来年度に向けた目標

節電・節水について、その大切さは理解されていても、行動に表すことが難しい。具体的な内容を提示し啓発を図りたい。

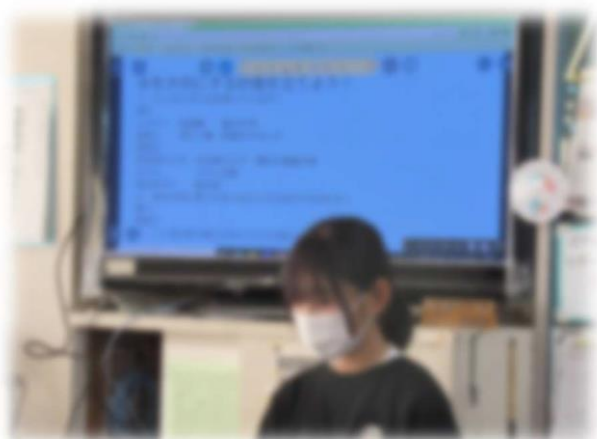
美化・緑化については、1年を見通した計画を立て、継続的な取り組みを考えたい。



〈アルミ缶・ペットボトルキャップ回収〉



〈古紙回収〉



〈節水についての学習会〉



〈SDGs についての学び①〉



〈節水ポスター作成〉



〈SDGs についての学び②〉



館林市立第七小学校

宣言書スローガン

節水や節電、食品ロス対策に取り組み、「温室効果ガス排出量ゼロ」に貢献します。

取組テーマ

- 1 省エネルギー
- 2 「食品ロス」ゼロ

取組目標

七小児童全員が、節水や節電、食品ロス対策を心がけて生活することができる。

取組内容

- 1 「七小SDGsコーナー」を設置し、環境問題に対して七小でできることを全児童や職員が意識できるようにした。
- 2 環境委員会の児童が中心になって、節水につながるような手洗いの仕方を伝える動画を作り、節水の大切さを呼びかけた。
- 3 「食品ロス」ゼロを意識できるような給食時の放送を、放送委員会が行った。
- 4 使用していない場所や廊下等のこまめな消灯を行った。
- 5 現有する教材を最大限に使用し、資源の有効活用を行った。
- 6 環境委員会の活動として古紙回収を行い、燃えるごみの量を減らした。

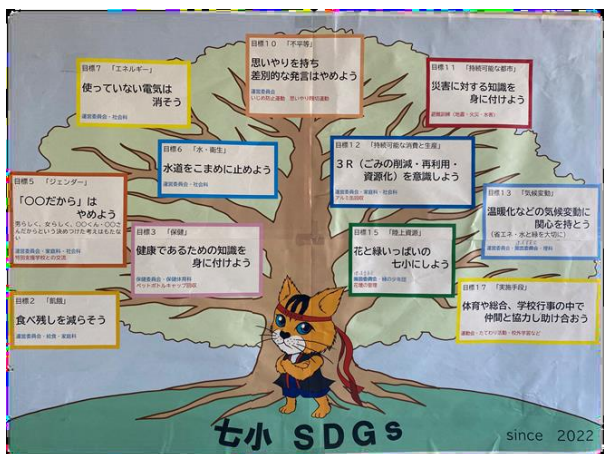
今年度のまとめ

昨年度から引き続き、学校エコライフ活動プランに沿って、「七小SDGs」の各目標の達成を目指し、エコ活動に取り組んだ。

今年度は新たに毎月の古紙回収を行い、予想よりも多くの紙ゴミが各学級から出ることが分かった。また、環境委員会児童の発案で、節水を呼びかける動画を作り、各学級で見てもらったところ、手洗いの際に児童が水道の蛇口をこまめにしめる姿が見られるようになった。

来年度に向けた目標

「食品ロス」ゼロを意識し、各学級で食べ残しをできるだけ減らすことができるように指導を行ったが、低学年を中心にまだまだ食べ残しが多くある状況である。来年度は、各委員会活動との連携を強化し、「食品ロス」ゼロに向けた取り組みを行っていきたい。



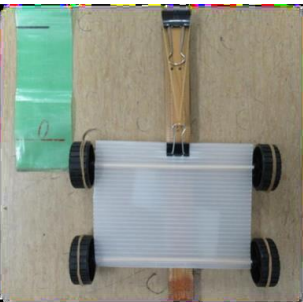
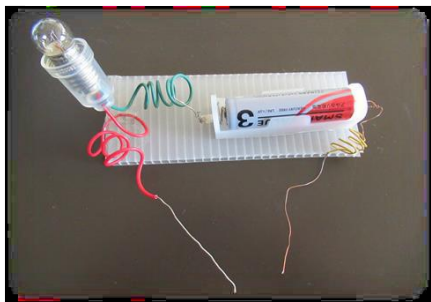
七小 SDGsポスター



七小 SDGsコーナー



各学級に設置した古紙回収 BOX



資源を有効活用した教材(理科)



資源を有効活用した教材(生活科)

館林市立第八小学校

宣言書スローガン

節電・節水を心がけ、資源を大切にし、環境にやさしい学校を目指します。

取組テーマ

- 1 温室効果ガス排出量ゼロ

取組目標

節電・節水を心がけて生活し、リサイクル活動に取り組みます。

取組内容

- 1 節電ポスターを作成して、照明スイッチ付近に掲示し、省エネ活動の啓発を行った。
- 2 黒板消しクリーナーを週1回清掃し、無駄な電力を使わないようにした。
- 3 教室を移動するときや休み時間に人がいないときは、こまめに電気を消すように呼びかけた。
- 4 授業中、換気対策を十分に行ったうえで、教室の空調の設定温度を適切に設定した。
- 5 節水ポスターを作成して、水道付近に掲示し、資源保護の啓発を行った。
- 6 歯みがきはコップを使用したり、手洗いは水を止めて洗うように呼びかけたりした。
- 7 定期的（月1回）に古紙回収を行い、リサイクル活動の意識をもてるようにした。

今年度のまとめ

過年度から継続して、節電や節水を啓発する活動を行っていることで、移動教室の際にほとんどの教室で電気が消えているようになった。しかし、手洗いのときに水を出しすぎたり流したままで洗ったりしている姿が見られた。

来年度に向けた目標

古紙回収は行っているが、児童のリサイクルへの意識が不十分である。また、プラスチック回収の取り組みが進まなかったため、来年度は、リサイクル活動の取り組み方を工夫し、意識が高められるようにしていきたい。

節電を呼びかけるポスター



節水を呼びかけるポスター



古紙回収



館林市立第九小学校

宣言書スローガン

身近な自然についてよく学び、自然となかよくできる学校を目指します。

取組テーマ

- 1 身近な自然と私たちの暮らし

取組目標

身近な自然のよさ、問題点に気づき、関わり方を考えよう。

取組内容

- 1 校庭の木を調べる(木となかよしになろう)
- 2 古紙・アルミ缶回収を行う
- 3 クヌギの苗木を育てる
- 4 私たちの渡良瀬川・矢場川の今昔の様子を調べよう
- 5 田んぼの生き物を調べよう
- 6 通学路ハザードマップづくりをしよう
- 7 米作り体験(含 バケツ稲作実験)
- 8 足尾銅山に植林しよう
- 9 世界の環境問題を知ろう

今年度のまとめ

これまで2ヶ月に1回の頻度で行っていた古紙・アルミ缶回収を毎月3回程度行ったり、各学年で身近な自然と関わり、発達段階にに応じて環境について考える時間を設定したりしたことで、児童自身が学校エコライフ活動を進め、課題について考え、実行しようという意識が高まった。

来年度に向けた目標

青少年赤十字委員会や園芸飼育委員の活動、総合的な学習の時間を中心として、環境や自然に対する学校全体の意識は向上している。次年度の取り組みでは、児童自ら問題点に気づき、課題を設定し、実践する態度を養いたい。



田植え



稲刈り



足尾銅山に植林



ピラカンサの実を使ったリース作り



校庭の木を調査



花苗の植え替え作業



館林市立第十小学校

宣言書スローガン

資源やエネルギーを大切に、環境によい学校を目指します。

取組テーマ

- 1 リサイクル
- 2 省エネルギー

取組目標

- 1 環境を守るために、節電・節水に努めます。
- 2 資源を大切にするために、古紙やアルミ缶の回収に取り組みます。

取組内容

- 1 昇降口にリサイクルボックスを設置し、JRC 委員会の児童がペットボトルキャップを回収した。
- 2 教室を移動するときは、各学級の電気係などの担当児童が電気を消すように徹底した。また、こまめな消灯は教職員も意識し、消し忘れのないよう心がけた。
- 3 水を使用する際は、こまめに水を止め児童や教職員全員で、水を大切に使った。また、水道の止め忘れが多かった箇所には、ポスターを貼ったり呼びかけを行ったりした。
- 4 環境委員会の児童が昇降口に立ち、アルミ缶の回収をした。事前に保護者に H&S にてメールを出し、よりたくさんのアルミ缶が集まるよう工夫した。また、給食の時間にアルミ缶回収を実施することを全校放送で呼びかけ、啓発を行った。
- 5 各教室にリサイクルボックスを設置し、環境委員会の児童が古紙回収を行った。
- 6 環境委員会が、節電ポスターを作成して照明スイッチ付近に掲示し、省エネ活動の啓発を行った。
- 7 環境委員会が、節水ポスターを作成して水道付近に掲示し、省エネ活動の啓発を行った。
- 8 環境委員会が、環境に関するクイズを作り全校児童に向けて問うことで、環境の現状についての周知を図った。
- 9 5年生の社会の授業で環境について学習し、単元のまとめとして学習新聞を作り、各クラスへ掲示し、環境への意識の向上を図る。(3学期)

今年度のまとめ

学校エコライフ活動を進める中で、環境委員会や高学年の児童を中心に、学校全体が環境への意識を高めることができた。「自分たちの力で何かを変えられる、動かせる」という体験に繋がられたことで、進んで行動する楽しさや大切さを実感させることができた。

来年度に向けた目標

低学年の児童に向けて、環境教育の意義や必要性を分かりやすく説明する時間を確保し、低学年から進んで行動するなど、教職員も含めて、校内一丸となってさらに環境への意識を高めていきたい。

第2問



せいかいはっぴょう



2022ねんにアルミ缶はどのくらいリサイクルされたのでしょうか。

②94%

①63%

②94%

③100%

たくさんかいしゅうできていますが、2021より2%さがってしまいました。けれどもむくひょうの92%を7ねんれんそくでこえることはできています。来年はもっとリサイクルしましょう！

環境委員会の児童が作ったクイズ

作ったクイズを発表している様子



アルミ缶の回収をしている様子



古紙の回収をしている様子



環境委員会の児童が作った節水ポスター

アルミ缶回収の結果報告



7月14日(金)。本日は、環境委員会の皆さんによる「ニコニコ☺️キャンペーン(ニコニコしながら一人2個のアルミ缶を持って来よう活動)」が朝、7:50から各児童玄関において実施されました！環境委員会では、本日に向けて、ポスターを作成したり、お昼の放送でアルミ缶持参を呼びかけたりしてきました。その甲斐あって、たくさんのアルミ缶を回収することができました！ご協力いただいた皆さん、保護者の方々、本当にありがとうございました。今後も、第2弾、第3弾と継続して活動を行うよう、計画しています。引き続き、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



館林市立美園小学校

宣言書スローガン

環境美化とリサイクルを意識して、環境に優しい学校を目指します。

取組テーマ

- 1 環境美化
- 2 リサイクル

取組目標

環境美化とリサイクルを意識して、環境に優しい学校を目指します。

取組内容

- 1 校内の各教室にリサイクルボックスを設置し、古紙回収をした。
- 2 各教室に燃えるゴミ、プラスチックゴミのゴミ箱を設置し、児童と教職員でゴミの分別を行った。
- 3 環境委員会が当番を決め、校内の汚れを見つけ、汚れのひどいところの清掃を行った。
- 4 環境委員会を中心に啓発ポスターを作成し掲示を行った。
- 5 「たてばやし学校エコライフ活動宣言書」を元に、環境委員会が放送を行い各クラスに宣言書を配布し、啓発を行った。

今年度のまとめ

- 古紙回収を通して、紙ごみを分けたり、各教室に設置してあるごみ箱の分別の意識付けができ、リサイクル活動が継続して行われるようになってきた。
- 環境委員を中心に放送や清掃、啓発ポスター作成などをして、児童、教職員ともに環境に対する意識の高まりを感じることができた。

来年度に向けた目標

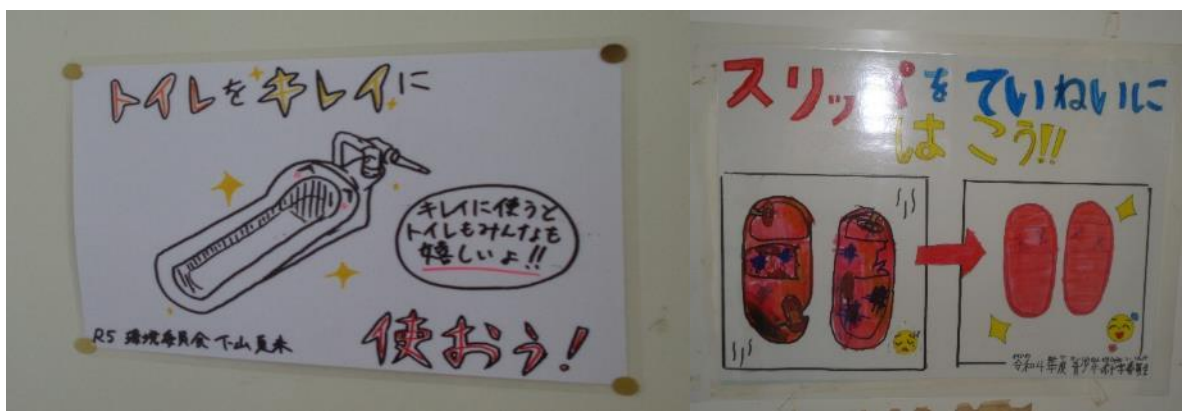
- 環境美化については、今年度よりも活動の幅を広げて取り組んでいきたい。
- 環境委員会による放送やポスターの啓発を行ったが、できなかった部分もあるので、次年度に活かしていきたい。



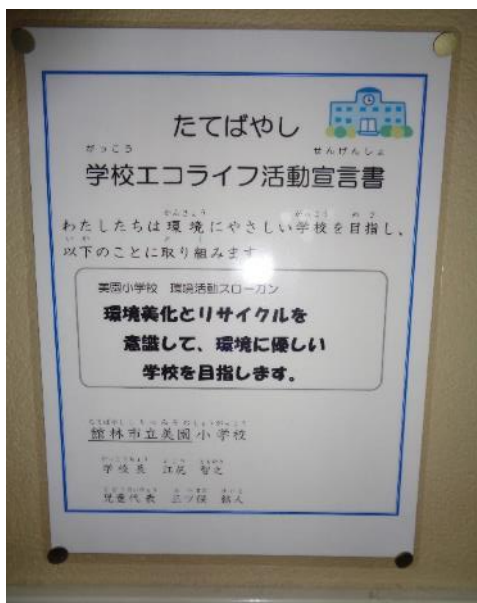
リサイクルボックス



古紙回収（朝の活動）



啓発ポスター



学校エコライフ活動宣言書



環境委員による清掃活動

館林市立第一中学校

宣言書スローガン

資源やエネルギーを大切にすることを育てる一中を目指します。

取組テーマ

- 1 美化・緑化活動
- 2 温室効果ガス排出量ゼロ
- 3 省エネ

取組目標

環境のために身近にできることを考え、実践する中で環境に対する意識を高める。

取組内容

- 1 教室内に植物を飾り、世話をすることで学校に花と緑を増やした。
- 2 節電や省エネルギーに関する環境ポスターを作成し、省エネルギーや環境への意識の啓発につとめた。
- 3 使用していない教室やトイレの電気は、生徒や教職員で率先して消した。
- 4 コンタクトレンズのケース回収を行い、リサイクルの意識を高めた。
- 5 給食のゴミの分別を、生徒と教員で徹底して行った。
- 6 各教室で古紙を回収したり、職員室での印刷時に裏紙を利用したりすることで、紙リサイクルの意識を高めた。
- 7 緑の募金を行い、緑化活動に対する意識を高めた。
- 8 資源回収を行い、資源を大切にすることを育てた。

今年度のまとめ

「たてばやし学校エコライフ活動プラン」で計画した取組の他に、年度途中に付け加えた取組もあった。環境に対する様々な取り組みを通し、生徒や職員が環境を意識した生活を送ることができた。

来年度に向けた目標

コンタクトレンズのケース回収や緑の募金に関して、PRの仕方や活動期間について改善の余地がある。次年度では、それぞれの活動に取り組む上で、より生徒や職員が活動を行う意義を理解できるよう取り組んでいきたい。



環境ポスター



コンタクトレンズのケース回収



資源回収



教室内の花の水やり



職員室で裏紙利用を促進



緑の募金

館林市立第二中学校

宣言書スローガン

二中から、みんながすごしやすい環境を！リサイクルでエコろう！

取組テーマ

- 1 SDGs
- 2 リサイクル
- 3 環境整備

取組目標

SDGs 17の目標について理解を深めることを通して、みんなが過ごしやすい環境を作るためにどのようなことができるかを考え、実行できる生徒を育成する。

取組内容

- 1 SDGs 17の目標について、1人1つ（1年生は2人で1つ）調べて、調べたものについて委員会内で発表をし、理解を深めることができた。（1学期）
- 2 SDGs 17の目標について、中学生の自分たちが今できることを考え、二中のSDGs 17の目標を考えた。（2学期）
- 3 二中のSDGs 17の目標のポスターを作成・掲示し、校内に広める。二中全体で取り組めるように啓発運動を行う。（3学期）
- 4 全校生徒で加法師川の清掃を行った。（5月）
- 5 環境委員が中心となり、JRC委員と一緒につつじが岡公園で、つつじの子房摘みを行った。（6月）
- 6 アルミ缶回収（通年）

今年度のまとめ

二中のSDGs 17の目標を作ったことで、今まで自分たちが参加してきた活動（アルミ缶回収・募金・加法師川清掃等）について有用性を感じ、より主体的に取り組む態度を育成することができた。

来年度に向けた目標

二中のSDGs 17の目標を全校に広め、学校全体で、みんなが過ごしやすい環境作りに取り組んでいけるようにしたい。



5月 加法師川清掃



6月 つつじが岡公園でツツジの子房摘み



通年 アルミ缶回収



二中 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOAL

二中から世界を変えるための17の目標

1 貧乏をなくそう 貧乏をなくすために無駄遣いをやめよう！

JR社員の人が見たい人たちのために乗車をしてくれるが、乗客に迷惑できるように乗客から無駄遣いをやめよう！

2 質の高い教育をみんなに 質の高い教育を受けよう！

遠征活動で取り組んでいるフェアトレードを学ぶことで、生産者の生活が改善し、笑顔で暮らしている人たちがあふれるようにしよう！

3 健康と福祉をこころからつなごう 競ランに参加しよう！

自由な教育、自由な行動、自由な生活のために、友達とたくさんふれあひ健康な体を作り、人生をHAPPYにしよう！そのために、みんなで競ランに参加しよう！

4 質の高い教育をみんなに 質の高い教育をできていない人たちのために僕たちが頑張ろう！

質の高い教育ができていない人たちのために僕たちが頑張ろう！

5 性別に平等をこころからつなごう 色んな生き方を受け入れよう！

性別に関係なく相手の個性を大切にしよう。

6 きれいな水とトイレをみんなに 水をきれいに使おう

水をきれいに使おう

7 エネルギーをみんなに 節電をしよう！

節電活動としては教室の電気を消したり、ヒーローの電扇を回して、夏場の暑さを我慢できるように心がけてみよう！

8 働きがいと経済成長をこころからつなごう 今のうちにやりがいがあると思える仕事を自分なりに考えてみてその仕事について調べよう。2、3年生は職場体験の経験を活かそう！

9 産業とイノベーションに力をこころからつなごう 未来の産業を支える人になるために勉強をがんばろう！

アフリカの国々や、内陸の発展途上国、島国などの国境が閉ざされている国に対して支援できるように、今、一生懸命勉強をがんばろう！

10 人や国をこころからつなごう これからたくさんの人と会おう。どんな人でも出会えるようにたくさんの人を知ろう！

11 住み続けられるまちづくりを 災害がいつ起きるかわからないので今ハザードマップなどで避難場所を決めるなどして防災意識を高めよう！

12 つくばない消費をこころからつなごう 資源はいっぱいから無駄にしないようにしよう

ゴミを減らし、資源を無駄にしない消費をしよう！

13 気候変動に具体的な対策を 川をきれいにしよう！

川のきれいにしよう！

14 海の豊かさを守ろう 川をきれいにしよう！

海の豊かさを守るために、そして海が汚染されているのを見ていくゴミを減らそう！

15 陸の豊かさも守ろう 自然を守る運動に参加しよう！

自然を守る運動に参加しよう！

16 平和と公正をこころからつなごう 平和にしよう！

平和にしよう！

17 パートナーシップをこころからつなごう 目標を達成するために協力しよう！

SDGs 二中の目標を、ひとりひとりが取り組み、みんなで達成させよう！

環境委員会

二中の SDGs17の目標

館林市立第三中学校

宣言書スローガン

古紙アルミ キャンプ回収 エコの意志！

取組テーマ

- 1 省資源
- 2 リサイクル

取組目標

資源ゴミの回収を行い、環境保全に対する意識を高める。

取組内容

- 1 奇数月の第二火曜日に、古紙アルミ缶回収を行った。
- 2 古紙アルミ缶回収の呼びかけチラシを作成したり、古紙アルミ缶回収の回収率が上位のクラスにはトロフィーを授与したりした。
- 3 各教室に古紙回収 BOX を設置し、古紙回収を行った。
- 4 各学年の廊下に投票形式のペットボトル回収 BOX を設置し、ペットボトルキャンプの回収を行った。

今年度のまとめ

古紙、アルミ缶、ペットボトルキャンプの回収を通して、学校全体の環境に対する意識を高めることができた。

来年度に向けた目標

古紙アルミ缶回収の回収率が、あまり高くなかったため、回収率が上がるような工夫をしていきたい。今年度の取り組み以外では、学校の電気の消し忘れ等が何度かあったため、消灯の徹底など、省エネルギーに対する取り組みも行っていきたい。

【古紙アルミ缶回収の様子】



古紙アルミ缶回収では、チラシ作りやトロフィーの授与も行いました。



チラシ



トロフィー

【2択の投票形式BOXによるペットボトルキャップ回収】



過去には、好きな飲み物はどちらか、好きなアイスはどちらかなどの投票が行われました。投票結果は、給食の時間に放送で発表されます。



館林市立第四中学校

宣言書スローガン

積極的に節電・節水し、環境に気をつかう四中へ

取組テーマ

- 1 美化・緑化活動
- 2 省エネ

取組目標

古紙回収や清掃等の環境に配慮した取り組みを積極的に行い、四中や四中の森のより良い環境づくりを目指します。

取組内容

- 1 四中の森保全活動その1：スズメバチトラップを設置し、自然との共存を目指しました。
- 2 四中の森保全活動その2：里沼育成ボランティアに参加し、四中の森の清掃活動を行いました。
- 3 環境をテーマにした標語づくり・ポスター制作等に取り組み、四中生の環境意識を高めました。
- 4 Google Formsを使って環境意識調査を行い、四中生の環境への意識の変化を調べました。
- 5 体育館横等にグリーンカーテンを設置し、過ごしやすい環境を目指しました。
- 6 PTA資源回収を実施し、きれいな地域を目指しました。
- 7 花いっぱい運動を行い、多くの花が咲く学校を目指しました。
- 8 使用しない教室の照明や扇風機等は、生徒が率先して消しました。
- 9 各教室に古紙回収ボックスを設置し、資源の無駄遣いを削減しました。
- 10 四中の環境に関する取り組みを模造紙にまとめて掲示し、四中生の環境への意識の向上を目指しました。
- 11 四中の森を総合的な学習の時間で活用し、里沼を環境面（1年生）や文化面（2年生）から考え、Google スライドにまとめました。

今年度のまとめ

生徒と協力して、新たな取組を複数実施することができた。生徒自身で考えて行動することを意識させることにより、自身の達成感に少しは繋がったと考えている。また、掲示板を利用することにより、生徒や教職員にも活動を周知し、学校全体の環境への意識の向上に寄与できたと考えている。

来年度に向けた目標

環境への意識は向上しつつあるが、環境アンケートの結果や花の水やりの状況等を見る限り、まだ行動にそれほど表れていないものもあると考えられる。来年度は、どうすれば行動に移すことができるかを模索していきたい。



2 里沼育成ボランティア（四中の森）



5 グリーンカーテン



3 環境ポスター



10 環境委員会掲示板



7 花いっぱい運動



9 古紙回収



館林城絵馬と館林城

幕末の浮世絵師北尾重光が描いた
暁彩色の絵馬

群馬県館林市出身の北尾重光が、館林城と歴史を描いた絵馬。城跡分層やかな景観で描いた。城跡の絵馬が城に身がふよりに描かれている。尾島稲荷神社へ奉納されて今も大切に受け継がれている。

里沼の田んぼの活用について

里沼と田んぼの活用についてはオムニスについてです。オムニス（又はスレイン）は一年生草種です。都道府県では一番の知名度がありますが、全国的にも認知度が低く、再販もありません。県産品に採る本校では、同年前半の豊作に限り、生徒たちがオムニス畑に除草作業などを行っています。



11 総合的な学習の時間（里沼調べ）

A:よくできている, B:できている, C:あまりできていない, D:できていない

		6月(%)	12月(%)	分析結果
①節電	A	66.4	69.7	節電への意識は少し高まった。ただ、電気やエアコンがつけっぱなしのこともあるので、より意識させられるようにしていきたい。
	B	32.5	29.7	
	C	1.2	0.6	
	D	0.9	1.5	
②節水・無駄遣い	A	43.2	45.9	節水や使用するハンドソープの量を意識する生徒が増えつつある。今後も、その意識を高めていきたい。
	B	47.5	48.3	
	C	8.4	4.3	
	D	0.9	1.5	
③整理整頓	A	36.5	30.6	整理整頓をする習慣があまりついていない人が多い。今後、ポスターや声掛け等でより意識させられるようにしていきたい。
	B	43.5	48.0	
	C	17.7	19.9	
	D	2.3	1.5	
④清掃	A	44.3	45.9	清掃はできていると回答している生徒が多いが、善段のようすを見る限り、そこまでできていないと感じている。今後の課題として、委員会で議論していきたい。
	B	53.6	52.6	
	C	1.7	0.9	
	D	0.3	0.6	
⑤家庭での活動	A	27.5	30.6	家庭でも環境に優しい生活を心掛けている生徒が若干増えつつある。この調子で意識が高められるようにしていきたい。
	B	66.7	64.2	
	C	5.8	5.2	
	D	0.0	0.0	

4 環境意識調査

館林市立多々良中学校

宣言書スローガン

花の植え替えや、落ち葉拾いなどの環境整備を通し、美しくてみんなが生活しやすい多々良中学校にする。

取組テーマ

- 1 美化・緑化活動

取組目標

花の植え替えや、落ち葉拾いなどの環境整備を通し、美しくてみんなが生活しやすい多々良中学校にする。

取組内容

- 1 花壇の水やりと整備では、草むしりと花への水やりを行う。
- 2 グリーンカーテンの作成を行い、1年生の教室前にリュウキュウアサガオのカーテンが掛かるようにし、熱中症対策を行う。
- 3 各教室にエコボックスの設置し、青少年赤十字委員と連携しながら、古紙の回収を行う。
- 4 秋の落ち葉拾いを実施する。環境たたら委員が中心となり、日々の活動を行い年末には各部活動で活動場所の落ち葉を清掃する。
- 5 節電・節水の呼びかけを行った。各クラスや水道場にポスターを貼ったり、朝の会、帰りの会などで呼びかけを行ったりする。
- 6 花壇の花植えをPTA役員と環境たたら委員会、地域の方々とC.Sの活動も兼ねて協力して行う。
- 7 生徒会本部が主体となり、地域清掃と題し、多々良沼周辺と松林の清掃活動を行う。

今年度のまとめ

昨年度の活動を踏まえ、CSの活動がより活性化できたように感じた。
当番等の活動も活発に行っていた。

来年度に向けた目標

環境たたら委員会中心の活動が多いので、もっと学校全体を巻き込んで活動の幅を広げていきたい。



グリーンカーテン作成

緑の羽募金



コミュニティースクールの活動・花壇整備



たてばやし学校エコライフ活動 ガイドライン

1 目的

たてばやし学校エコライフ活動は、第三次館林市環境基本計画の施策「学校での環境教育の推進」を実現するために、学校での環境教育・環境学習を円滑に推進し、館林市の環境保全と創造に資することを目的とする。

2 たてばやし学校エコライフ活動の推進

(1) 学校エコライフ活動に取り組む方向性及び内容の決定

当該学校と環境との関わりを再認識しつつ、当年度の1年間実施していく学校エコライフ活動の宣言（スローガン）を決める。

たてばやし学校エコライフ活動のテーマ・内容、さらに活動主体等を検討し、「学校エコライフ活動プラン」を作成する。可能ならば、進め方や活動実績の残し方も決める。

※作成文書：学校エコライフ活動宣言書、学校エコライフ活動プラン

(2) 学校エコライフ活動の実施

各学校内で、環境活動を実施し、必要に応じて実施記録を残す。

(3) 学校エコライフ活動の報告

1年間の環境活動を振り返り、実施記録等を参考に、「たてばやし学校エコライフ活動取組レポート」を作成し、地球環境課に報告する。

環境活動の取組結果を、学校内、保護者等に周知する。

※作成文書：たてばやし学校エコライフ活動取組レポート

(4) たてばやし学校エコライフ活動の継承

次年度の担当者に引き継ぐ事項を確認し、記録をまとめ、次の担当者に引き継ぐ。

3 取組の公表及び表彰

学校教育課及び地球環境課は、学校エコライフ活動に取り組んでいる学校の取組内容を紹介するとともに、先進的な取組や積極的な活動を実施している学校を選定し、表彰する。

4 環境教育・学習の推進

授業における環境教育・学習については、年度当初に各校が環境教育全体計画を作成し、推進する。

たてばやし学校エコライフ活動報告書（令和5年度版）

令和6年2月

■発行 館林市 市民環境部 地球環境課
館林市教育委員会 学校教育課

〒374-8501 群馬県館林市城町1番1号

TEL：0276-72-4111（代表）内線451

E-mail：kankyo@city.tatebayashi.gunma.jp

URL：<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/s024/kurashi/120/050/020/20200108091000.html>

※ たてばやし学校エコライフ活動報告書の著作権は、発行元及び各児童生徒にあります。
文章・写真等の無断使用はお断りいたします。